



# まちづくりニュース

## 1 まちの未来について語っていただきました

令和8年1月から3月にかけて、「環境と共生するまちづくり検討会」（裏面参照）のモデル的な取り組みとして、計3回のまちづくりワークショップが開催されました。

このワークショップには、「東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会」の役員等にご協力をいただき、町や倉見地区の「過去・現在・未来」をテーマに意見交換が行われました。当日の主な発言概要を次のとおりご紹介いたします。

今後は、このワークショップを契機として、より多くの関係権利者等の方々と意見を出し合う場を設けていきたいと考えています。

### 第1回

まちの **これまで** を振り返る

歴史  
伝統

文化

口述  
記録

倉見地区は**結束が強い**

新たな文化活動に対しては、**保守的**な傾向がある

倉見駅前通りは、かつては**お店が多くて賑わっていた**



自治会の加入率が**減少**しており、抜ける人も増えている

昔は子どもたちの**遊ぶ場所**が外にあった

寒川神社のイメージが強い

### 第2回

まちの **現状** に向き合う

教育  
子育て

地域  
交流

道路  
防災

住民主体で意見交換できる場が必要

**若い世代**をまちづくりに巻き込めていない

寒川北IC周辺の**渋滞対策**は課題



地域資源を活かしていない

**新しい取り組み**を継続して行うことが重要

「花のまち さむかわ」は町民に浸透

### 第3回

まちの **未来** をみんなで描く

ビジョン

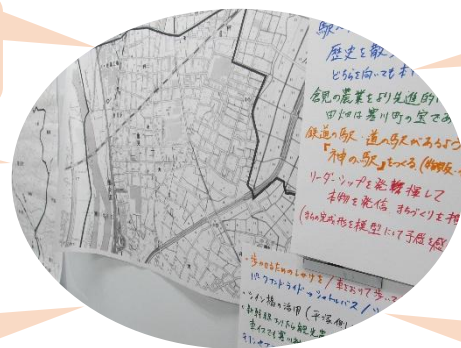
ビジネス

公共  
空間

町外の人にも**交流・集客**できる施設やイベントがあるといい

神社への参拝者に**町の魅力**を知ってもらう

休耕地等を利用した**観光農園**などの体験に価値を



寒川は神社の**厳かさ**や**自然**を感じるまち

キッチンカー出店などの**経済的**な魅力も必要

駅だけではなく、車で来た人も**歩いて散策**できるように

## 今後の取り組み予定について

これまで、土地利用のゾーニングの図面などをお示ししてきましたが、来年度以降は、行政からの情報提供だけでなく、このワークショップを契機として、地元の連絡協議会の皆様をはじめ、より多くの関係権利者等の方々と意見を出し合う場を設けていきたいと考えています。

町や地域の課題整理や解決策、また、強みを活かしていくためのアイデアなどをお伺いし、今後のまちづくりの検討に活かしていきたいと考えています。

## 「環境と共生するまちづくり検討会」とは

環境共生モデル都市ツインシティのまちづくりについて検討するために設置しており、学識経験者、ツインシティ倉見地区及び平塚市大神地区の地元組織等の方々、神奈川県・寒川町・平塚市の職員で構成されています。

ツインシティ倉見地区からは、東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会の役員等が参加しています。

## 今回のワークショップのテーマ

過去

現在

未来

地元の方々が意見を出し合う場  
(ワークショップ、意見交換会など)

まちづくりの検討へ活用  
(土地利用の構想案など)

## 2 都市計画道路「宮山線」周辺のアンケートについて

寒川町と藤沢市を結ぶ都市計画道路「宮山線」について、現在、神奈川県により整備が進められており、今後、町の北部地区では大規模な土地利用転換が予測されます。

町では、北部地区の土地利用を検討するためのプロジェクトチームを設けて取り組みを開始しており、今後、土地所有者等の方々とともに検討を進めるため、皆様のご意向をお伺いさせていただきアンケートを実施します。

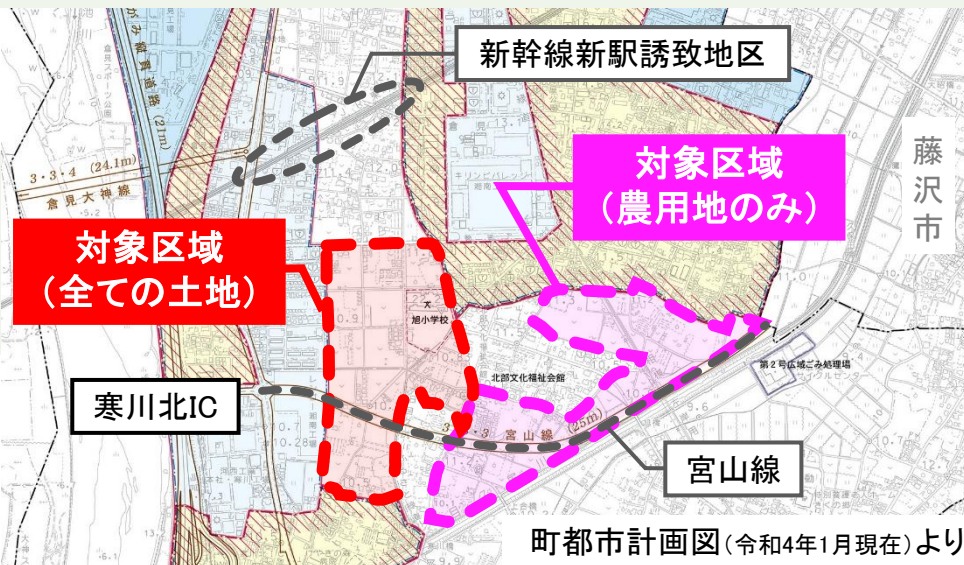
アンケート結果を参考に土地利用の構想案を検討してまいりますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

内容 ○農用地所有者の方・・・「営農状況やまちづくりに対するお考え」など

内容 ○宅地等所有者の方・・・「まちづくりや市街化区域編入に対するお考え」など

期間 4月15日(水)～  
5月15日(金)

回答方法 ①郵送(返送)による回答  
②パソコンまたはスマートフォンによる回答



北部地区の取  
組みはこちら



アンケートの  
概要はこちら

編集・発行：寒川町 町長室 倉見拠点づくり担当

〒253-0196 寒川町宮山165番地

TEL 0467-74-1111 (代表) FAX 0467-75-9906



過去のニュース  
はこちらから